

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 平成 30 年 9 月 20 日（木）
午後 1 時 30 分から午後 3 時 35 分まで
- 3 場所 第 2 ・ 第 3 委員会室
- 4 出席議員 会長 宮川 隆、副会長 梅村 均、
櫻井 伸賢、大野 慎治、鈴木 麻住、塚本 秋雄、相原 俊一、
鬼頭 博和、須藤 智子、榎谷 規子、木村 冬樹、堀 巖、
黒川 武、関戸 郁文、伊藤 隆信
- 5 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同主任 高野真理子
- 6 会長あいさつ
- 7 協議事項

（１）五条町とのふれあいトーク会議録について
訂正箇所等を確認。別紙参照。

質問①

塚本議員：もう少し詳しく質問されなかったか。

宮川会長：趣旨をまとめた。

（全員了承）

質問②

塚本議員：伊藤議員の一般質問と堀議員が回答していた内容と思うが何か意見は。

伊藤議員：見に行ってきたがひどい状態。県の管轄のようで、市は認知していない。待合橋から南。

黒川議員：区間をはっきり書こうか。

（全員了承）

質問④

須藤議員：水路から道路側の境界の草はどうすればいいか、農家の方に聞かれたことがある。

宮川会長：境界がどこなのかについても執行機関に聞く。

（全員了承）

宮川会長：今日のご意見をもとに、訂正版を議員レターボックスに配布する。

（２）市民活動団体とのふれあいトークについて

- ・当日の欠席予定：相原議員
- ・４グループ程度、各グループに議員を割り振る
- ・テーマの設定はなし
- ・グループ分けは正副会長に一任された

- ・グループディスカッションの2回目はシャッフルし、3回目は1回目のグループに戻る
- ・記録は、模造紙・付箋を写真に撮る。最後の発表は録音して議会で記録を作る。
- ・集合：午後6時30分に現地
- ・会場設営は、市民活動支援センターの全体会開催中に議員が行う。
- ・当日の参加者数に合わせてグループ数を決める。
- ・記録係：大野、写真：伊藤、総合司会：宮川

（3）議会報告会について

10月28日（日）午後2時から 第三児童館（2階）

- ・当日の欠席予定：相原議員
- ・グループ分けは行わない。
- ・進め方は本年5月の議会報告会に倣う。
- ・司会：梅村、記録係：堀、受付と会場整理：榊谷・須藤、駐車場：宮川・伊藤、写真：鬼頭、報告：宮川
- ・駐車場が無いことを併せて広報する。

報告の内容について（平成29年度決算か、第9次実施計画か。）

黒川議員：報告の内容について、財務常任委員会委員長の意見を求めたほうがよいのでは。

梅村副会長：実施計画を報告した方がいいのではないかという意見が出ているが。

大野議員：おそらく、毎年10月の全員協議会の時に実施計画が公表になり、来年度の予算に関わる新規事業等が出てくるので、報告事項と意見交換の材料として8～10個ピックアップして説明していくのがよいかと思う。

宮川会長：10月の全員協議会の資料は10月28日の段階でプレス発表されているか。

大野議員：実施計画はホームページにも載らなくてはいけない。予算は2月に正式発表になるが、実施計画も公表されるべきものであり、内容を公表しても問題ないと思う。

堀議員：議会報告会なので実施計画をテーマにするのはいかなものか。決算議会（9月定例会）で、議会がどういう役割を果たしたか、どんな意見が出てどんな審議がなされたかを報告する場である。実施計画では、議会というより、執行機関寄りの話になってしまうことを危惧する。

大野議員：2月の報告会は日程がタイトだったので、意見交換会で出た意見の取りまとめがしっかりできなかった。市民の皆さんの意見を議会に反映

させていくためには早い段階で意見聴取することが大切だと思う。

黒川議員：実施計画を議員が市民に説明するのは、精度の面で難しいのでは。決算で出た意見等をテーマにしてはどうか。財務常任委員会委員長はどうか。

関戸議員：賛成。

宮川会長：では、財務常任委員会正副委員長で整理されたい。過去の反省にたってあまり固定的な表現の仕方をせず、決まった事実は否めないが、せっかく皆さんに参加して頂く会議だからそれぞれの思い、意見、方向性を踏まえて、イエス・ノーだけではなく参加者が理解しやすい多面的な説明を期待したい。

木村議員：議事録を起こし、複数の議員から質疑がされた項目を抽出して、どういった論点で議論されたか報告することを心がけてほしい。

関戸議員：了。

堀議員：その中で来年度の実施計画上はこうなっていると、説明の中で使うのは有効だと思う。

木村議員：実施計画は、示された後で疑問点が出ることもあるため、議会ではまだ意見があるという取扱いでお願いしたい。

宮川会長：一つの指針として示すだけであって、結論まではいかない。

大野議員：昨年度政策提言という形で市長に申し入れたが、今年も議会報告会までに提言内容を決めておかないと、ただ議論しただけになってしまう。議会としてはこうした意見を踏まえて政策提言に向けて動いていくものがないと、市民の皆様にとただ質疑をしていたと思われてしまう。最終的には財務常任委員会、または協議会で昨年のように提言内容を2～3つ挙げていくことを早めに行うべきだと思う。

宮川会長：大野議員の言うことも一理あると思うが、本来の議会の大きな役割は、決定するということもあると思う。決定するに当たっての議論、どういった考えに基づいて結論に至ったかを説明することも必要だと思う。スタンスとしては、9月議会の内容、決定事項、至った経緯に特化することでは。責任を持って決めるのが議会の仕事である。皆さんの平均的な意見を聞く中では、決算に関わる経緯、結論を主軸に考えるとよいのでは。全否定はしないが、軸となるのはそこではないか。

梅村副会長：軸はそれでいいと思う。それで進めていければ。

宮川会長：個人の見解、知識も違うのでそれに基づいた意見があってしかるべきであるのでそこまでは介入しないが、決算とその決定に至る経緯を今回の議会報告会の軸にもっていきたい。

（４）議会講演会について

10月13日（土）午後２時から 市役所７階大会議室

- ・司会：大野、開会の挨拶：議長、閉会の挨拶：宮川
- ・集合：午後０時３０分（会場設営）

（５）その他

【議会報告会と議会講演会の広報について】

櫻井議員（広報委員会委員長）：配布のチラシを各区長に配布し、回覧板と掲示板に掲載してもらうよう依頼にまわった。また、中日新聞折込みのmove itに掲載申込みに行ったが、紙面が既に埋まっていた。キャンセルの出る可能性があるので預かってもらったが、掲載されない可能性が大きい。

宮川会長：新聞紙面に記事を入れてもらえるかもしれないので、中日新聞社に情報提供をお願いします。

木村議員：議会講演会のチラシはもう配布してしまったか。「岩倉市議会としての取り組み」と書いてあるが、誰が報告するのか。議会が何かシティプロモーションに取り組んでいると思われそう。

大野議員：配布済みである。挨拶ですこし触れる程度。

【文化協会との意見交換会（ふれあいトーク）について】

- ・11月22日（木）午後７時から 場所は未定（市役所希望）
- ・事務局で会議室の空き状況を確認する。

【農業委員会との意見交換会（ふれあいトーク）について】

- ・11月20日（火）農業委員会総会の前後に実施できるよう総務・産業建設常任委員会委員長から依頼する。
- ・総務・産業建設常任委員会と、ではなく、議会基本条例推進協議会全体で実施する。

８ 報告事項

（１）各チームからの進捗報告

【議会機能強化チーム】

鬼頭チーム長：議会サポーターからの意見が10件ほど集まっているので、定例会後に議会運営委員会で回答の作成をお願いしたい。また、議会の基本的なこと、順番や会議の流れ等、わからないことが出てきているような

ので、説明会等をやってはどうかと思っている。チームで実施してもいいし、議会全体で実施してもいい。

宮川会長：参加してみて発生した疑問に関してはみんな答えられる内容だと思う。1日では終わらないと思うので、要望を聞いた上で、数人で答えたほうが、一部に負担が掛からなくてよいのでは。日程調整等はチームでお願いします。説明は議員全員で行う。

黒川議員：懇談会も兼ねて実施しては。時間を変えて2回ほど設定し、議員はできるだけ出席してはいかがか。

宮川会長：頂いた意見はここでみんなが共有して対応すべきだし、議会運営に関しては議会運営委員会で話し合う段取りになるが、この提案は一定参加して持った素朴な疑問に対して答えるものなので、文章よりも直接話しをした方がよいということ。

鬼頭チーム長：昼夜の2回程度に分けて企画する。

宮川会長：分担すればもっと多くても対応できるので、都合に合わせて細分化してもよい。

【ICT強化チーム】

鈴木チーム長：フルスペックで実施計画に出したが、チームでの検討を経て、絞り込んだ比較表を作成した（配布資料）。moreNOTEの新しいバージョンも出て、価格も安くなった。先日デモを受けたが、使いやすくなっている。コスト面として、個人負担も検討し、費用を抑えたい。当初の初期費用として、18台で100万ほどはかかる。その後の年間の使用料としては100万ほどかかるので、個人負担も考えてみてはどうか。機能面は説明の難しいところもあるのでチーム会議で詰めていきたい。費用面をどうするかというところで、フルスペックすべて公費でというわけにはいかないなので、どれぐらい個人負担、政務活動費で補填していくかを提案していきたいので意見を頂きたい。

須藤議員：タブレット導入が前提になっているが、そもそも導入する理由は。導入が必要かどうかの最初の議論をしていない。議会として決定していないのに、なぜ実施計画にあげてしまったのか。

鈴木チーム長：ICT化のため。全庁的な取組みである。ペーパーレスだけでなく効率化にもなる、機能面でも便利である。導入については全員賛成であると本協議会で確認した。

須藤議員：執行機関と同時に導入するのか。

鈴木チーム長：違う。ICT化という意味であり、その中で他市町でも実績がある会議システムを導入してはいかがかという話しである。そのために

I C T強化チームを作って方向性を考えて進めてきた。

須藤議員：I C T化で効率がよくなるのか。どのような理由か。

鈴木チーム長：もちろん効率もよくなるし、3回体験をしているので機能面もよく理解して頂いているのでは。便利になる。

須藤議員：導入するには行政側とも一緒にやるべきでは。

鈴木チーム長：行政と一緒にやるのがベストだが、なかなか一緒ににはできないので議会が先行してやってほしいということになった。

須藤議員：先行してもいつやれるか分からないのでは。

鈴木チーム長：それを今協議している。

須藤議員：何のためにタブレットが必要かという議論もないまま、タブレットありきで実施計画を出したというが、みんな賛成しているのか。

鈴木チーム長：みんな賛成のうえで実施計画に出したと思っている。I C T化に反対している議員はいるかと尋ねたら、反対はいないと聞いている。時期尚早といったタイミングやコスト面の話は聞いている。それを検討するためにコストを下げる提案をしている。

須藤議員：コスト面だけではなく、なぜタブレットを導入するのか、導入によってどういった効果があるのか聞きたい。

鈴木チーム長：前回、効果を示して説明し、資料も渡してある。

須藤議員：それはいつか。本協議会で報告があったか。

鈴木チーム長：本協議会で報告し、資料を渡して説明し、導入計画も示してある。

須藤議員：さらに個人負担をしろということか。

鈴木チーム長：チーム会議の中でタブレット本体を個人負担するという意見もあったが、そこまでは問題があると思い、通信費の一部負担や、フルスペックではなくキーボードは必要な人は個人で購入する等を提案した。また、チーム会議の中で個人所有のタブレットも使うという意見もあったが、セキュリティの問題等があるので統一したタブレット運用したほうがいいとなった。

関戸議員：チーム会議の中では、個人のタブレットを使用するとどんな問題があるかメーカーに確認することになっていたのでは。

鈴木チーム長：メーカーには個人的には確認してある。個人のものを使用することは運用上の問題もあるのでは。みんなが同じタブレットを持っていない。持っていない人はタブレットを購入しなければならないので、タブレットはリースで、通信費を抑えればと提案をした。

須藤議員：政務活動費と個人負担の両方か。政務活動費はいくら負担するのか。

鈴木チーム長：通信費の半分を政務活動費と個人負担で、全体の4分の1を個人負担、4分の1を政務活動費負担にしてはと提案した。意見を聞かせてほしい。金額的には月1,500円、半額であれば750円が個人負担になる。

須藤議員：多額の予算が必要なことなので、導入の理由、費用対効果など説明がほしい。

鈴木チーム長：前回、議会改革ということでタブレット導入の目的、計画、効果、費用の資料は渡してある。ICT化についてみなさんの考えを聞き、ICT化に反対している方はいなかった。時期尚早という意見は聞いた。

宮川会長：基本的にICT化に反対している議員はいなかった。どの時期に入れるのかが課題であり、費用対効果を具体的な数値で示すことも命題として残っている。他市の導入実績もあり、効果はデータで挙げられる。チームの提案は土台であり、そこにみんなの意見を集約するのはよいのでは。議員によって温度差はあるし、費用負担に関しても何も決まっていない。導入時期も、改選期か庁内のパソコンのリース切替え時期か、この場で議論すればいい。システムを入れるために個人パソコンを業者に触ってもらうのはいかがなものか。みんなが勉強して早く同じレベルになるためには、同じ機種の方が指導をしやすいしコントロールもしやすい。江南市議の説明では、セキュリティの面で、一定の公費が入ることによって通信記録を確認する強制力が発生する。導入ありきで話す段階ではない。導入するなら根拠は明確に示す必要があるのでは。

相原議員：来年で改選だが、置き土産をする必要はあるだろうか。政務調査費は何か、個人負担は何か、新人が議員になってからスタートしてもよい。確かにICT化の説明はあったが、1回欠席をしたらもうここまで話が進んでいる。しかし全体が分からないから反対できない。ICT化に反対はしないが、新しいスタート時に全員で協議すればいい。

梅村副会長：個人的意見として、ICT化を進めるならばまず全員協議会の資料をデータでもらえば進んでいくのでは。統一タブレットがほしいということだろうが、タブレット導入した時にどうなるのかを1つ1つ書き出すことが必要。基本計画に書かれているものがデータになることは分かるので、それをデータでもらえれば済む。しかし統一タブレットを使用したほうがいいとの意見もあるので、既存のハードと統一タブレットを使用した時の違いやメリットを出した方がよいのでは。

須藤議員：7階の環境整備はどうか。行政と一緒にやらないと無駄になる。

宮川会長：環境整備を含めた見積と含めない見積を出している。環境整備を含めると行政のICT化に包括されるが、含めないと行政の庁舎管理と話

をしなければならない。どちらがいいのか、いつ入れるのか、何のために入れるのかの３点を中心に意見を集約したい。相原議員の意見はごもっとも。議論し納得して、勢いだけで導入はせず、説明責任が果たせられるデータは持っているべきである。

須藤議員：行政側ともタイアップしないと議会事務局の仕事が増えるのでは。

鈴木チーム長：当初は、タブレットを４４台用意し、行政にも持ってもらい、sidebooksの講習会には行政も何人か参加して機能を体験し、一緒に研究していくことを提案した。しかし検討した結果、行政は別の文書管理システムがあるため、すぐに新しい会議システムの導入は難しい。まず、議会で先行して検討してほしいという話だった。機能面も費用面も一緒に進めることがベストだが、他市町村も議会先行が多い。まず議会で使ってみてその後、行政も使えるものがよいのでは。行政の持っている既存のタブレットに会議システムだけ入れる方法もある。

須藤議員：議会の資料は全部タブレットに入れるのか。その作業は議会事務局でやるのか。

宮川会長：今は資料をデータで作成しているので、議会事務局の負担にはならない。紙ベースでしか残ってない資料をデータ化すべきだが今後どうするか。現在のデータのやり取りの具体例を挙げれば、データは誤字脱字の訂正もその場ででき、時間的な節約になるのでメリットがあることは明確である。

大野議員：moreNOTEは、人件費とペーパーレスとデータ化ができるものがシステムの中に入ることを売りにしていた。これだけ労力がかかるとすべてデータ化してある。一括でデータが出てくるので、印刷する必要がなくなる。その部分の人件費を含めたコストがデータで出てくるそう。

伊藤議員：ＩＣＴ化は費用がかかるが、誰が払うのか。議員は報酬を税金で貰っているので、個人でタブレットを買うべきだと思う。

宮川議員：賛否両論あるし、納得できない点もあると思う。説得できるような資料と意見をお互いに持ちながら進めていきたい。継続案件とする。

９ 確認事項

（１）行政視察（来庁分）等について

宮川会長：１１月１６日（金）奈良県広陵町議会の行政視察について、岩倉市民の意見が聞きたいという依頼があった。議会サポーターに参加を募ろうと考えている。案内文書をサポーターに送付する。

（全員了承）

10 その他

【逐条解説チーム】

梅村チーム長: 逐条解説は委員会代表質問の関係で議会基本条例の改正を検討中のため保留。23 条はチームで調査を継続中。

午後 3 時 35 分閉会